

三木町農学部キャンパス報告

土居 敬典
T.Doii
(香川大学農学部)

1. 教育用 PC

三木町農学部キャンパスに、本センターが設置している教育用パソコンの利用状況を報告する。情報処理室1・情報処理室2・図書館農学部分館メディアコーナーの3か所に設置しており、各25台・3台・8台の計36台設置している。

部屋の位置や利便性の関係で、図1に見得るように、図書館の利用時間が高い。ただ、夏休み中は全体的に低いものの、図書館の開館時間が短いので情報処理室の方が高くなっている。

また、全体的に8月以降情報処理室の利用が少なくなっているのは、以前の情報処理室は24時間開放であったが、8月1日から幸町キャンパスと同じ平日8:00~21:00の開館時間に変更したことが原因である。変更理由は、省エネ対策であり、このためエアコンだけでなくパソコンの電源のつけっぱなしもなくなった。

講義としての利用は、学生の持ち込みパソコンにより講義を行っているため、現在行っていないが、8月7日高校生対象にサイエンスアドベンチャー「タンパク質のかたち」を見る—X線結晶構造解析—を行っている。

2. 情報リテラシー教育

農学部キャンパスでは全学共通科目「情報リテラシー」を毎年1年生対象に行っている。本センターの林教授が「コンピュータとネットワークの基礎」を担当されている。Word・Excelの実習には情報通信交流館 e-とぴあ・かがわより講師を招き実践的な講義を行っている。



サイエンスアドベンチャー

図1 部屋別月別年間利用時間

